

事業所一覧



ホームページアドレス: <https://kantool.co.jp/>
 メールアドレス: info-kantool@kantool.co.jp

フリーコール 0120-812-432

●北海道営業所 〒004-0031
 北海道札幌市厚別区上野幌一条4丁目1-3
 TEL.011-801-8881 FAX.011-896-8885

●東京営業所 〒271-0065
 千葉県松戸市南花島向町315-5
 TEL.047-308-3633 FAX.047-308-3634

●東京営業所 仙台オフィス 〒984-0831
 宮城県仙台市若林区沖野6-26-26 セツ星ハイツ 106号室
 TEL.022-290-5262 FAX.022-290-5263

●名古屋営業所 〒452-0822
 愛知県名古屋市西区中小田井2-486
 TEL.052-504-2321 FAX.052-504-3614

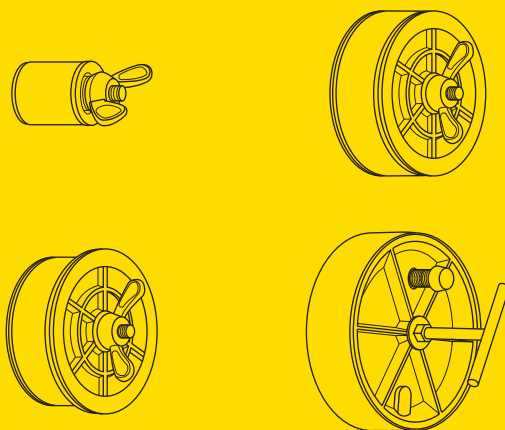
●大阪営業所 〒536-0007
 大阪府大阪市城東区成育1-6-26
 TEL.06-7711-3470 FAX.06-7711-3474

●九州営業所 〒814-0151
 福岡県福岡市城南区堤1-32-20 オフィスバレア堤13号室
 TEL.092-407-2433 FAX.092-407-2434

●松戸テクニカルセンター 〒271-0065
 千葉県松戸市南花島向町315-5
 TEL.047-308-2271 FAX.047-369-1161

●本社 〒103-0001
 東京都中央区日本橋小伝馬町1-3 ヨシヤ日本橋ビル8階
 TEL.03-5962-3240 FAX.03-5962-3241

メカニカル・プラグを安全に



このたびは、弊社メカニカル・プラグをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書を必ずお読みになり、ご理解の上、正しく安全にご使用ください。本製品が届いたときに、ご注文の商品に間違いがないか、また、輸送中の事故などで破損や変形がないかお確かめください。万一、不具合があった場合は至急お買い上げの販売店、または、弊社営業所にお申し付けください。

本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがありますので予めご了承ください。



主な仕様

タイプ	Cat.No.	呼び径 (mm)	最小径 (mm)	最大径 (mm)	最大径許容背圧	
					空気 (Mpa)	水頭 (m)
KS	269-840	13-14	13	14	1.24	124
	269-867	19-22	19	22	1.24	124
	269-875	22-26	22	26	0.28	28
	269-883	32-36	32	36	0.78	78
G	270-210	38	38	41	0.12	12
	270-229	50	49	55	0.12	12
	270-237	75	72	78	0.12	12
	270-245	100	97	103	0.12	12
	270-261	150	147	154	0.12	12
IG	270-296	100	97	103	0.12	12
	270-253	150	147	154	0.12	12
	IG-3	200	196	203	0.12	12
IN	914-075	75	74	85	0.11	11
	914-100	100	98	110	0.12	12.2
	914-125	125	121	134	0.09	9.3
	914-150	150	141	156	0.09	9.3
	914-200	200	192	206	0.09	9.1
BIG	272-957	200	196	210	0.07	7
	272-965	250	249	261	0.07	7
	272-973	300	298	312	0.09	9

使用可能管種対応表

◎: 使用可能 ×: 使用不可
 △: 可能な場合と不可能な場合あり

タイプ	Cat.No.	呼び径 (mm)	V P 管	V U 管	厚 陶 管	H P 管	S T P G 鋼 管	4 S T P G ス テ ー ル
KS	269-840	13-14	◎	-	-	-	×	-
	269-867	19-22	△	-	-	-	×	△
	269-875	22-26	△	-	-	-	×	×
	269-883	32-36	△	-	-	-	◎	◎
G	270-210	38	◎	×	-	-	×	×
	270-229	50	◎	△	-	-	◎	◎
	270-237	75	◎	×	-	-	×	◎
	270-245	100	◎	△	◎	-	◎	◎
	270-261	150	△	◎	△	△	◎	◎
IG	270-296	100	◎	×	◎	-	◎	◎
	270-253	150	△	◎	△	△	◎	◎
	IG-3	200	×	◎	△	△	◎	△
IN	914-075	75	◎	◎	-	-	◎	◎
	914-100	100	◎	◎	△	-	◎	◎
	914-125	125	◎	◎	◎	-	◎	◎
	914-150	150	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	914-200	200	◎	◎	◎	◎	◎	◎
BIG	272-957	200	×	◎	△	◎	◎	◎
	272-965	250	×	△	△	△	◎	△
	272-973	300	×	×	△	△	△	△

※表は管の許容誤差を考慮して判定しておりますが、埋設管の変形、膨張、摩擦などにより寸法が異なる場合があります。必ずお確かめの上ご使用ください。



安全に関するご注意

- ①自然流下の排水・下水管以外では使用しない。
- ②プラグを設置した管の前方扇状には近づかない。
- ③ヘルメット、安全メガネを必ず着用する。
- ④使用目的に合ったプラグを選択、使用する。
- ⑤圧力計は正常なものを使う。
- ⑥使用前、プラグに傷や汚れがないか点検する。
- ⑦プラグを設置する管内はきれいに掃除する。
- ⑧最大背圧（プラグが耐えられる圧力）を厳守する。
- ⑨背圧を取り除いてからプラグを取り外す。



使用上のご注意

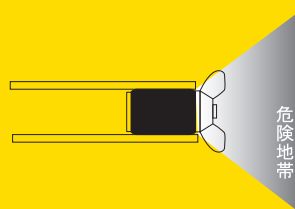
使用用途

メカニカルプラグは、止水目的で作られています。排水管用洗浄剤や腐食作用のある薬品には使用しないでください。

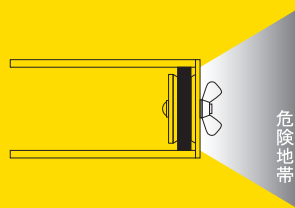
設置時・撤去時のご注意

- ①プラグ設置前に、管径を必ず測定してください。異なったサイズを使うと、故障や事故の原因となります。管種によっては使用できないものもありますので、裏面の対応表をご参照ください。
 - ②プラグ表面や設置する管内の汚れを落としてからご使用ください。
 - ③メカニカルプラグの蝶ナットは、“手締め”でしっかり締めてください。締め方が弱いと取り付け不良を起こしプラグが外れる恐れがあります。逆にレンチやプライヤーなどで強く締めすぎるとプラグが破損することがありますのでご注意ください。
 - ④万一プラグが外れた場合、プラグが飛んできて大変危険です。使用中は管口から放射線状地帯（危険地帯）に立ち入らないでください。また危険地帯内に管や壁などの構造物がある場合跳ね返る現象が生じ、危険地帯が拡大する可能性がありますので注意してください。
 - ⑤事故防止のため、必ず事前にプラグにかかる背圧を計算してください。そして最大許容背圧を厳守してください。許容圧を超えて使用すると事故の原因となりますのでご注意ください。
 - ⑥プラグ撤去前に、背圧を取り除いてください。背圧が残ったままプラグを取り外すと事故の原因となります。背圧がないことをご確認のうえ、プラグを撤去してください。
- ※背圧を取り除く作業が困難な所では、ムニボールやテストボールなどのエアープラグをご使用ください。

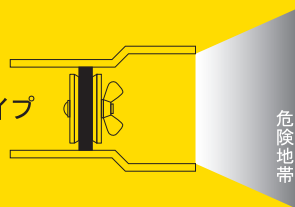
●管口設置型・KSタイプ



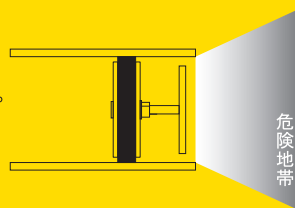
●管口設置型・Gタイプ



●管口設置型・IG、INタイプ



●管口設置型・BIGタイプ



保管時のご注意

プラグは定期的に点検を行い、ゴムリングなどの汚れは石鹸や水で洗い流してください。また、使用する時は水気を充分取り乾かせてからご使用ください。プラグの動きが悪くなったら、ボルトやプレートにシリコン系グリスを付けてください。ゴムリングの表面に油を付けないでください。プラグが外れる原因となり大変危険です。